

まゆだま

作成年代 昭和16年(1941)

寸法 40.2×50.6cm



まゆだまとは、小正月や初午などに、繭の形の団子を作って木の枝に差したものや、これを作る行事を指します。もとは稲をはじめとする農作物の豊作を祈願するためのものでしたが、養蚕の盛んな関東地方や中部地方、東北の一部などでは、繭の豊産を前祝いするための繭玉飾りが盛んです。材料は米の粉が一般的ですが、小麦粉やトウモロコシの粉などを使う地域もあります。この作品では、東北らしい風景としてまゆだまを母娘で作る様子が描かれています。